

総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013 日本体育協会 ～地域住民が主体的に参画するスポーツ環境の構築を目指して～

<抜粋>

4. 日本体育協会が取り組む各種支援方策

3) スポーツ推進委員との連携

「スポーツ推進委員」は、当該地域や市区町村行政との関係が強いという特徴を有していることから、「スポーツ推進委員」が、総合型クラブの育成・支援に係るキーパーソンとなり得る可能性を有している。

「スポーツ基本計画」においても、市区町村のスポーツ推進に係る体制の整備を図るため、スポーツ推進委員は「『クラブアドバイザー』と連携を図り、総合型クラブの育成支援への一層の参画」が求められる旨が明記されたことから、本会と公益社団法人全国スポーツ推進委員連合が緊密に連携し、総合型クラブの育成・支援を図ることが重要である。

今後、関係機関・団体が一丸となって総合型クラブに対する人的支援を充実させる観点から、スポーツ推進委員とクラブアドバイザーが連携して支援を行うことができる体制の構築について検討していく必要がある。

これらのことを踏まえ、次の取り組みを行うこととする。

① スポーツ推進委員との連携体制の構築

○「スポーツ推進委員」と「クラブアドバイザー」の各々が果たす役割・使命を整理し、互いの資源（「強み」）を活かして、効果的で円滑な支援を行う体制を構築するため、本会と全国スポーツ推進委員連合との間で、早急に協議の場を設けることができるよう調整する。

○現在、すでにスポーツ推進委員による支援の下で活動している総合型クラブもあることから、このようなクラブにおけるスポーツ推進委員とクラブアドバイザーとの役割及び連携体制を整えるための事例収集を行い、「スポーツ推進委員」と「クラブアドバイザー」の連携体制を構築するための基礎資料とする。